

# 埼玉県中学校体育連盟野球専門部 公式記録

平成24年11月7日(水) 新人体育大会 川越初雁球場 天候 晴れ

1回戦第1試合 川越市立 砂中学校 対 深谷市立 上柴中学校

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	SD	10	11	12	13	計
砂中	0	0	0	0	0	0	0								0
上柴中	0	1	1	0	0	0	×								2

砂 荒山一伊藤  
上 斉藤一山岸

2塁打

3塁打

本塁打

二回裏、上柴中は、四球とワイルドピッチで二死一三塁と攻め、一塁走者の二塁盗塁の間に、三塁走者が生還し1点を先取る。つづく3回裏上柴中は、相手失策より1死二塁とし、二番千嶋のバントヒットで1死一三塁とチャンスを広げ、三番富田のの時、スクイズを決め、2点目をあげる。5回表、砂中は、1死四球から犠打で二死二塁とし、9番山岸が中堅前安打で二死一三塁と攻めるが後続が倒れ得点ができなかった。6回表、砂中は、二死から四球盗塁で二死二塁とし、5番若林が左翼前安打を放つも、左翼手鈴木の好返球により本塁を踏めず得点できなかった。7回表、砂中は相手失策から一死三塁と攻めるが、後続が倒れゲームセット。上柴中の投手斉藤は、丁寧な投球で砂中打線に本塁を踏ませなかった。

1回戦第2試合 さいたま市立宮原中学校 対 毛呂山町立川角中学校

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	SD	10	11	12	13	計
宮原中	0	0	0	1	0	1	0								2
川角中	0	0	0	1	0	0	0								1

宮 大坪・三又・坂入一都  
川 長嶋・弓田一弓田・長嶋

2塁打 都(宮)

3塁打 都(宮)・磯部(宮)

本塁打

序盤、両チームとも走者を出さず、両投手の粘り強い投球で得点を許さず、無得点が続く。4回表、宮原中は、先頭4番都の右翼線を抜く三塁打で無死三塁とするも、捕逸で本塁をつくも投手長嶋の素早いカバーでアウトとなる。しかし、5番森泉が左翼前安打で出塁し、二死二塁とし7番磯部の左翼越え二塁打で1点を先取る。4回裏、川角中は、1死から4番長嶋が中堅前安打で出塁し、四球と内野安打で1死満塁と攻め、死球による押し出して1点を返す。さらに2死満塁と攻めるも追加点を挙げられなかった。6回表、宮原中は、先頭打者の死球から、犠打で、1死二塁とし、7番都の右翼線に落ちる二塁打で、1点を勝ち越した。7回裏、川角中は、先頭打者の四球から、1死二塁とするも、あと一本が出ず、ゲームセット。途中から登板した宮原中坂入が、コーナーをつく丁寧な投球で追加点を許さなかった。

1回戦第3試合 さいたま市立岸中学校 対 所沢市立柳瀬中学校

チーム	1	2	3	4	5	6	7	SD	8	9	10	11	12	13	計
岸	0	0	0	0	0	0	0		0	0					0
柳瀬	0	0	0	0	0	0	0		0	1×					1

岸 小野寺一黒田  
柳 松田一浅見

2塁打

3塁打

本塁打

2回表、岸中は四球と盗塁、犠打で1死三塁とするも、スクイズを外され、得点ならず。3回裏、柳瀬中は、四球と安打から2死満塁と攻めるもあと一本が出ず得点を奪えなかった。4回表、岸中は、四球と二番堀家の左翼前安打から1死二三塁とし、捕逸から本塁を狙うも本塁でアウトとなり、チャンスを逸した。7回表、岸中は、二死三塁と攻めるがあと一本が出なかった。両チームとも決定打を欠き、試合は特別延長戦に突入した。特別延長8回表、岸中は1死満塁から、9番斉藤が左翼飛球をあげ、2アウト、さらに三塁走者が飛び出しダブルプレーとなる。その裏柳瀬中は、スクイズを試みるも成功せず、後続も倒れて両チームとも無得点に終わる。つづく9回表、岸中は、三者凡退に終わる。その裏、柳瀬中は、1番野澤の死球でサヨナラ勝ちをおさめた。

1回戦第4試合 飯能市立飯能西中学校 対 川口市立戸塚西中学校

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	SD	10	11	12	13	計
飯能西	1	0	1	2	0	0	0								4
戸塚西	0	0	0	0	0	0	0								0

飯 須田一加藤  
戸 松浦・岡一小林

2塁打 石井(戸)・森谷(飯)

3塁打

本塁打

1回表、飯能西は、2死一二塁から5番峯田の左翼前適時打で1点を先取り、さらに二死満塁と攻めるが追加点は奪えなかった。1回裏、戸塚西中は、1番石井の左翼越え二塁打と犠打で1死三塁とするも後続が倒れ、得点できなかった。2回表、飯能西中は、無死一二塁と攻めるが、走塁ミスで追加点を奪えなかった。3回表、飯能西中は、3番森谷の左翼線の二塁打からチャンスを作り、2死満塁から、相手失策で1点を追加する。4回表、飯能西は、1死満塁とし、5番峯田の中堅前ポテンヒットで2点を追加した。4回裏、戸塚西は、二死一塁から四番藤田が左翼前安打でつなぎ、二死一三塁とするも、後続が倒れ得点できず。6回裏、戸塚西は、二つの四球と犠打で1死二三塁とし、二死から4番藤田をむかえるも一本が出ず、無得点に終わる。飯能西の投手須田は、制球に苦しみながらも要所を押さえる投球で、戸塚打線を零点におさえた。